

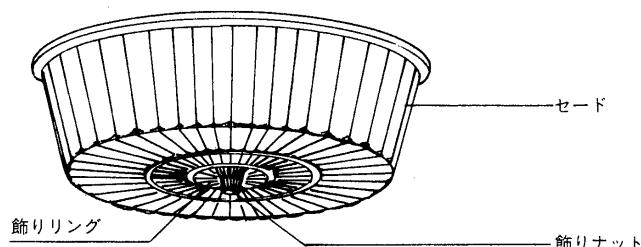
## 東芝蛍光灯直付器具取扱説明書

このたびは東芝蛍光灯直付器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

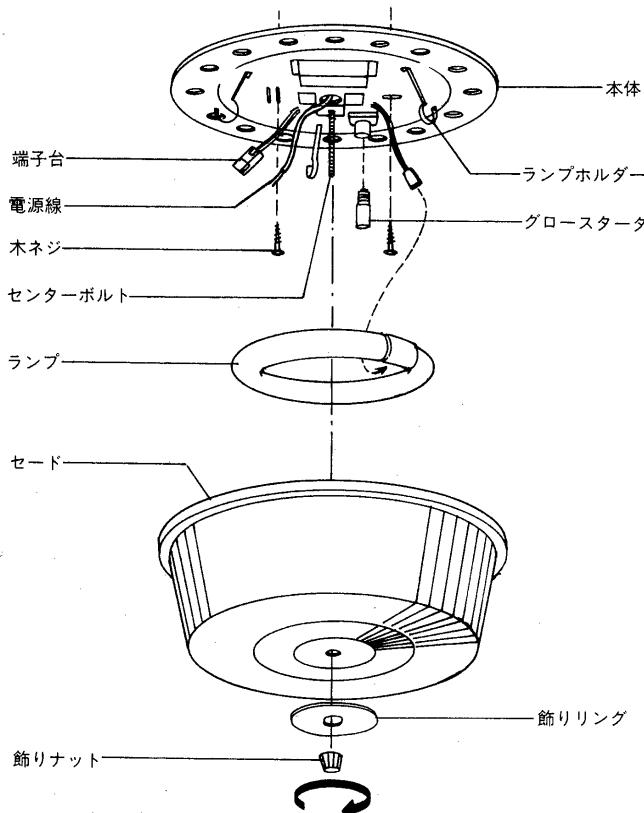
この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

### 各部のなまえ

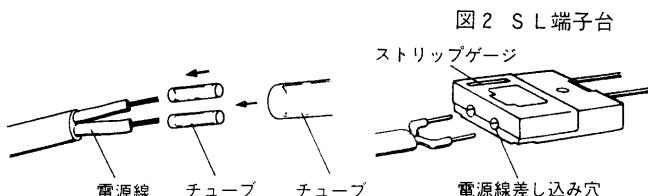


### 器具の取りつけかた

図1

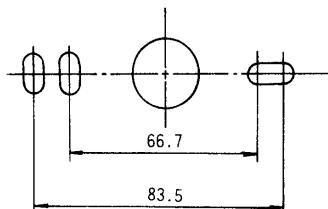


1. 本体に電源線を通してから本体を付属の木ネジでしっかりと取り付けます。 (図1)
2. 電源線に付属の保護チューブをかぶせます。
3. 電源線の結線は、S L端子台のストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、電源線差し込み穴に強く差し込んでください。その際電源線をねじったり、まわしたりしないでください。 (図2)



4. ランプをソケットに差し込み、ランプホルダーにセットしてください。 (図1)
5. センターボルトをセード中央の穴に通して本体に押しつけ、飾りリングを通してから、飾りナットを矢印の方向に締めつけて固定してください。 (図1)

図3 本体の取付けピッチ



#### 〔ご注意〕

天井や壁面に器具を取り付ける場合、壁紙・クロス貼りなどの接着剤が十分乾燥してから器具を取り付けてください。メッキ、塗装などの変色やサビのもとになります。

### お客様へ

引掛シーリングボディの取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法で禁じられております。

### 工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 特にご注意を

■この器具は天井面・壁面の丈夫なところに取り付けてください。

薄い天井面・壁面や弱い天井面・壁面などに取り付けますとねじ止めが弱く振動などで器具が落下するもとになります。

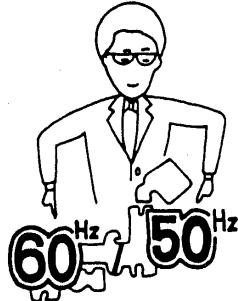
■必ず電源周波数に合った器具をお使いください。

蛍光灯器具には電源周波数が50ヘルツ(Hz)用と60ヘルツ(Hz)用の区別がありますので、地域の周波数に合った器具をお選びください。(ご不明の場合はお買いあげの販売店におたずねください。)まちがえてご使用になりますと、ランプ寿命が短くなったり、過熱して焼損などのもとになります。

※贈り物としていただいた場合などには特にご注意ください。

電源周波数のちがった地域にご転居のときは部品の交換が必要です。お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、周波数変換については実費を請求させていただきます。



■紙や布などを器具の上や近くに置いたり、かぶせたりして使用しないでください。器具の温度が高くなり、火災などの事故のもとになります。

■器具の改造やランプ以外の部品の交換は、絶対におやめください。性能が十分に発揮できないばかりか大変危険です。

■この器具は屋内・屋外用で、5℃～35℃の範囲で使用するよう設計しております。取り付けの際はご注意ください。

■ストーブなどの暖房器具の真上やその付近などには取り付けないでください。寿命などの性能が低下するばかりか危険です。



■ランプを交換されるときは、必ず電源を切ってから行ってください。

■ランプ交換の際には、20W器具の場合は東芝蛍光ランプ<サークライン>メロウホワイト20ワット形、30W器具の場合は東芝蛍光ランプ<サークライン>メロウホワイト30ワット形をご指名ください。

(注) 東芝蛍光ランプ一般形も交換使用可能です。

■グロースタータ交換の際には、東芝グロースタータFG-Eとご指定ください。

## お手入れのしかた

■器具のお手入れは必ず電源を切ってから行なってください。



■グローブはぬるま湯または石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。このとき、ぬれた手でソケット部分に触れないでください。



■器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

■金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。



■ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

## 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。